

【実施報告】2019.8.29～30 安田学園中学校「海の学校」:1年生

東京湾最大の干潟で中学生探究学習

伊東久枝(LAB to CLASS プロジェクト/海の世界教育 NPO bridge)



概要

東京都の私学(中間一貫校)安田学園中学校1年生の『探求・ライフスキル学習』授業の一環として、2日間の干潟の体験学習プログラムを行いました。フィールドは千葉県木更津市にある「盤洲干潟」。小櫃川河口から東京湾へと続く広大な干潟は、東京湾最大であり、全国的に見ても今では稀となった“川から海へと繋がる干潟の原風景”が残る貴重な場所です。

6月に行った「フィールド下見体験学習(日帰り)」で干潟の全容を体験。地域で「海苔漁」を行っている漁業者の方のお話もお聞きし、その後興味を同じくする数名でグループをつくり、<探究テーマ>を決めて当日に挑みました。

探究テーマは、塩分濃度によって貝の浄化能力は違うのか、カニは温度が高い時と低い時でどちらがよく動くか、カニの大きさと行動範囲の関係、などなど。なかには「カニは巣穴の入り口を塞がれたらどうするか」「走るときにはどの足を使うのか」など、中学1年生らしい素朴な疑問も。これらの探究学習の結果は、11月に行われた文化祭『安田祭』で発表されました。

◆探究・ライフスキル学習の学年テーマ(1年生):

- 1) 自然に親しみ、共同生活を通して集団のあり方を学ぼう
- 2) 海の生態系を調査し、自然と人との関わりについて考えよう

◆「海の教室」実施目標:

- 1) 自然体験活動のなかで＜自分で気づき(疑問を持ち)・考え・疑問解決のための行動を起こせる＞ようになる
- 2) 干潟の生物に親しみ興味を持つ
干潟(浅い海)の重要性に気づく
海の生物と自分(人)のつながりに気づく

【例】食、海のゴミ問題、地域(木更津市及び東京湾沿岸)の産業と暮らし

◆実施日:2019年6月18日(火) *フィールド下見(小櫃川河口干潟)

2019年8月29~30日(木・金)

◆実施場所:千葉県木更津市 金田見立て海岸・小櫃川河口干潟・金田地域交流センター

◆実施校:学校法人 安田学園中学校 総合コース1年生

◆体験者数:97名

◆講師:東邦大学名誉教授 風呂田利夫

◆協力:金田漁業共同組合・木更津市観光振興課・木更津市観光協会

◆受託元:株式会社 JTB 教育第二事業部

活動の様子



対岸の横浜まで歩いて行かれるのではないかとと思うほど、平坦に続く浅瀬の海。「水がきれい!」「あったかい!」「あれっ、貝が動いている。貝じゃない?」…はじめて足を踏み入れた干潟の海は、発見の連続。

ここは、都内の学校からわずか2時間足らずの東京湾の海。下調べをして想像を重ねたグループ研究の始まりです。



ぎょ！小さな巻貝の山の下に何かいる。目を見開いてこちらを凝視している？のは…干潟で息絶えたアカエイの死骸。別名「海の掃除屋さん」と呼ばれる肉食性の小さな巻貝が集まって、食べていたのです。

生きものがたくさんいる干潟に、腐った生物の死骸がほとんどないのは、こうして餌にして生きる生きものがあるから。命が巡っているのを実感しました。



干潟の表面に無数にある小さな穴。しばらくじっとしていると、周りを伺いながら出てくる出てくる、小さなカニ。穴の周辺を掘ってみると、砂の中にもたくさんのカニが。しばし水槽に入れて、観察です。

▼何もいないように見える平坦な干潟。でも表面をよく見ると、砂を掘ってみると、いるいるたくさん不思議な生きものたち。



潮が満ちる時間帯を利用して、金田地域交流センターの多目的室で、LAB to CLASS 教材《海の生きもの椅子取りゲーム》をしました。干潟とはまったく関係ないように見える海の生きものも、意外なところでつながっていたりすることにびっくり！

海の生物の多様性と、海の広がりを感じていただけたでしょうか。



盤洲干潟をはじめ、東京湾の干潟と生物を知り尽くした、東邦大学名誉教授の風呂田利夫先生から、干潟の自然や生物の面白さ、浅瀬の海の貴重性のお話も聞きました。みんなの手元には風呂田先生の著書『干潟の生物観察図鑑』が。事前に読んで不思議に思っていたこと、干潟感じた疑問が生徒さんのなかから次々とあがり、活発な意見交換が行えました。



東京湾を横断するアクアラインの向こうには、東京の高層ビル群が霞んで見えます。昔、東京湾のほとんどの場所には、このような広大な干潟が広がっていて、そこには貝やカニやエビ、小さな魚たちがたくさん暮らし、海の生態系を支えていました。

豊穡な「江戸前の海」の面影をたっぷり体験して、生徒たちの東京湾に対する思いは、どう変わったのでしょうか。そして、来年の「山の学校」で山から海がどのように見えるでしょうか？今後の学習の広がりが楽しみにな「海の学校」でした。

実施スケジュール

【1日目:8/29】 *干潮 10:00 (7cm)～13:00 干潟活動可能

時間	内容	詳細	場所
10:00	挨拶	スタッフ紹介・スケジュール説明他	みたて海岸 休憩所
10:50	干潟の生物観察	干潟の自然に馴染む	
11:00	生物・自然観察	探究学習① *各班のテーマに沿って自然観察	みたて海岸 前浜干潟
12:00	昼食・休憩		みたて海岸 休憩所
13:00	生物・自然観察	探究学習② (調査・研究)	みたて海岸 前浜干潟 小櫃川河口干潟
15:30	室内体験	教材を使った室内体験学習 *身近な「海の生物」の生態と多様性を知る	金田地域交流センター
16:00	まとめ	1日目の振り返り 2日目の調査に向けた計画	
17:00	1日目終了	ホテルへ移動	

【2日目:8/30】 *干潮 10:47 (2cm)～14:00 干潟活動可能

時間	内容	詳細	場所
9:30	挨拶	スケジュール確認、注意事項他 前日の学習の中間発表	みたて海岸 休憩所
10:30	生物・自然観察	探求学習 2nd ステージ①	みたて海岸 前浜干潟 小櫃川河口干潟

時間	内容	詳細	場所
12:00	昼食・休憩		みたて海岸 休憩所
12:40	生物・自然観察	探求学習 2nd ステージ②	みたて海岸 前浜干潟 みたて海岸 休憩所
15:00	ミニレクチャー &質問タイム	干潟の自然と生物 (東邦大学 風呂田名誉教授)	みたて海岸 休憩所
15:30	まとめ・閉校式	2日間の振り返り	
16:00	終了	学校へ向けて出発	

